

次世代ICカードシステム研究会 (NICSS) のご紹介

2023年7月

次世代ICカードシステム研究会

〒105-0003

東京都港区西新橋2-14-1

興和西新橋ビルB棟 1604号室

電話：03-3539-3541 FAX：03-3539-3545

e-mail：info@nicss.or.jp

URL：<https://www.nicss.or.jp/>

1. 会長のご挨拶



ICカードは、偽造・変造・改ざんができないインターネット上の電子身分証明書を基本としています。

現在、インターネットを含む有線・無線の様々なネットワーク環境、そしてスマートフォンやタブレットなどの便利なデバイスが普及し、われわれの生活や仕事は、とても便利になりました。しかし、その反面、ネットワークやデバイス、システムへの攻撃やなりすましも増加しており、これらの機器を安心して使う環境を維持するには、コストをかけて防御しないと、とんでもない災難に見舞われることも他人事ではなくなっています。

次世代ICカードシステム研究会（NICSS）は、このような状況の中で、高度な認証技術に基づく厳格な本人確認が可能なICカードに着目して、ICカードの普及促進に向けた活動を国内外の諸団体と連携して行ってまいりました。

本研究会は、平成10年12月9日に創設、住民基本台帳カードの普及に向けた活動、また欧米、アジアの諸団体と交流し、諸外国の動向の把握や日本の状況の情報発信を行いました。平成28年からはマイナンバーカードの普及のためのユースケース検討等後方から推進することを中心に据えて活動を展開してきました。また、平成13年度からは、ICカードに代表されるセキュアチップやIoTに関する情報交換を関係する国内外の諸団体と連携して行ってまいりました。

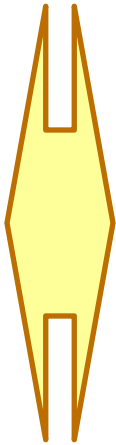
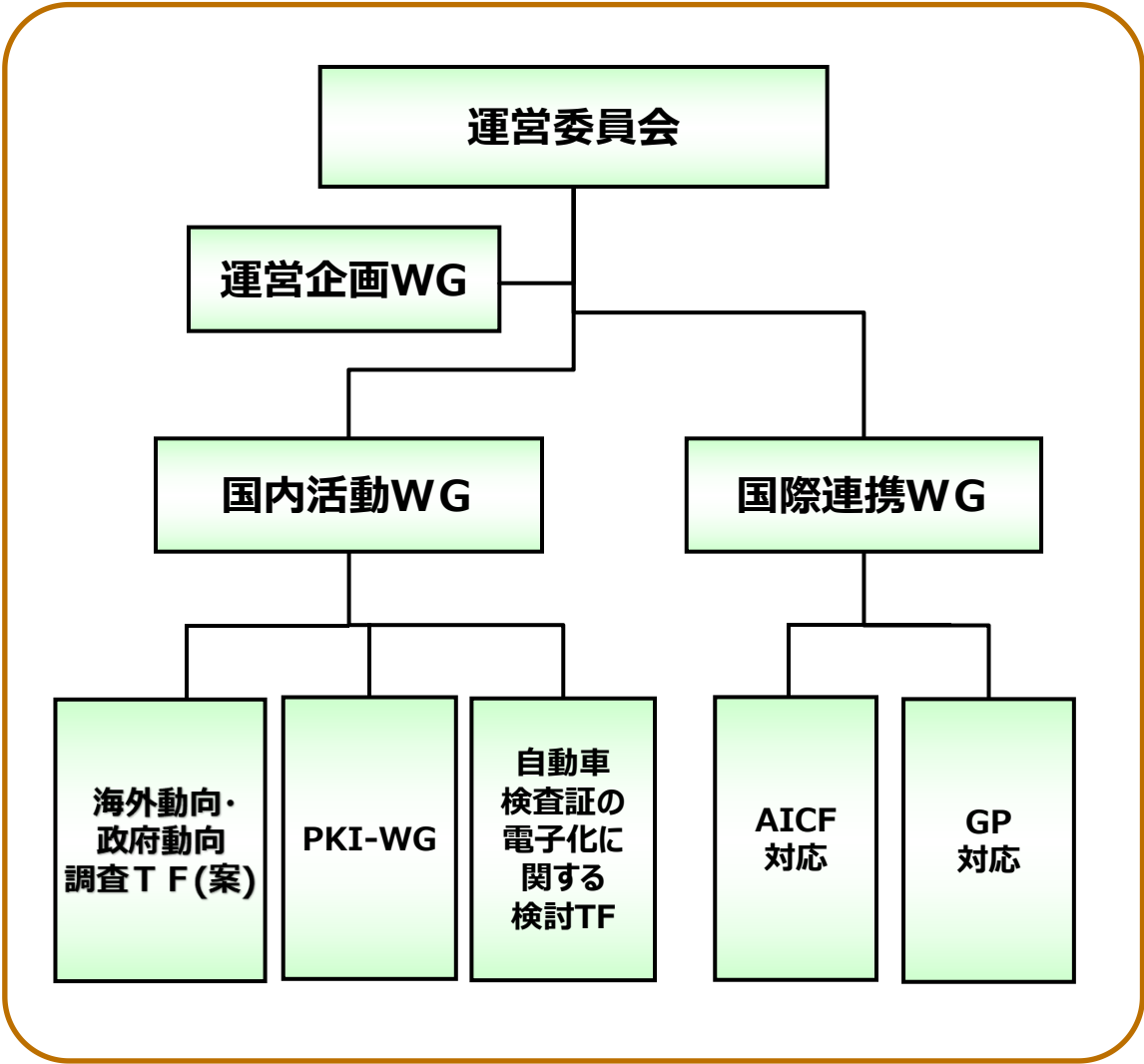
このような活動を展開してきましたが、公的ICカードが国民全体に行き渡り、個人の権利を守るための様々なシーンに活用できるような段階には、未だ至っておりません。このことは、公的ICカードを一人一人が持ち、利便性を感じるユースケースがまだ十分ではないためであり、更なるユースケースの創出や利用環境の整備が必要であると考えています。

ICカードは、偽造・変造・改ざんができないサイバー空間での電子身分証明書を基本としています。つまり、個人が使うICカードは、本人になりかわって、その人の権利を守るために、様々なネットワークにおいて、認証や電子署名、情報の暗号化などをセキュアに行うことができます。言い換えると、ICカードは個人を特定し、権利を守るためのツールです。また、現在ではいろいろな物や機器にICチップが搭載されており、今後車両と紐付けされてそれを特定し、その属性を調べることによって、物流や業務の効率化や、物や機器のセキュリティを確保することなどを目的としたIoTも普及しつつあります。

本研究会は、以上の取り組みを通して、さらなるICカード等の普及促進のため、多くの人、企業、団体の方々にとって、有益な情報源となることを目指しております。関係各位のさらなるご理解とご支援を心よりお願い申し上げます。

次世代ICカードシステム研究会 会長 大山 永昭

2. NICSSの運営体制と関連団体



- 政府機関等
- GLOBAL PLATFORM (GP)
- Asia IC Card Forum (AICF)
・現在 日本、韓国、シンガポールの
3か国が加盟
- Mongolian United Smart Card
Association (MUSCA)
- ニューメディア開発協会 (NMDA)
- 保健・医療・福祉情報セキュア
ネットワーク基盤普及促進
コンソーシアム (HEASNET)
- その他

3. 2022年度の活動内容（国内）

1) PKI-WG

- ・公的個人認証(JPKI)の利用環境と利用形態の拡張、及び利用拡大を狙った普及啓発等の調査・検討を引き続き行い、スマートフォン利用も含めた具体的な方法等の提言を行いました。

2) 車検証TF

- ・国土交通省と連携を行い、車検証の電子化に伴う発行・利用における運用やセキュリティ等に関する課題と解決策、I Cチップの空き領域利用に関する検討支援等の提言を行いました。

3) 今後の活動に関する意見交換会

- ・EUが2021年6月に発表した欧州デジタルIDウォレットの動向、また海外のモバイルドライバースライセンズ（mD L）等の最新調査を行い、国内の状況を含め議論を行いました。
また、11月には国際社会経済研究所から海外国民 I Dに関する講演もいただきました。

4) 情報交換会

- ・2023年3月14日にオンラインで開催いたしました。

4. 2022年度の活動内容（国際）

1) AICF（Asia IC Card Forum）

- 第11回AICF総会開催
 - 2023年2月8日午前を海外から4名のメンバー（韓国3名、シンガポール1名）を招き、NICSS事務所にて対面方法で開催しました。[前回総会はリモート形式で開催]
 - 各国代表からの近状アップデートを行って頂きました。
- 議長国交代
 - 本総会のタイミングでAICF議長国を日本から韓国に引き継ぐ事が了承され、Professor. Ho Hyeorn Han氏が会長職に着任する事になりました。

2) セキュアデバイスフォーラム2023（SDF2023）：GP（GlobalPlatform）とNICSS共催

- 2023年2月8日午後からオンライン形式で開催し、講演者の方を含め234人の方にご参加頂きました。（290人の申し込みに対し234人の参加、約80%の参加率）
- 「セキュアコンポーネント/デバイスの今～ユースケースと最新技術・取り組み」をフォーラムテーマとして開催しました。
- 講演者は海外からリモートおよびビデオ配信による講演を含め、GP、AICF、GSMA、AWSおよびMicrosoft、国内からは総務省、経産省、デジタル庁、国立情報学研究所、NICSS、と多岐にわたる分野の方々から、国際・政策・研究開発・標準化・導入展開に関する貴重なご講演を行って頂きました。
- 今年度からの初の試みとしてAWSおよびMicrosoftの2名のスピーチはビデオ録画したものを配信する方法を取り講演者の幅を広げました。

5. NICSS会員

次世代ICカードシステム研究会 会員一覧（2023年7月1日現在）

会長： 大山 永昭 （東京工業大学 科学技術創成研究院 特命教授）
監事： 齋藤 英喜 （公認会計士）
理事： 小尾 高史 （東京工業大学 科学技術創成研究院 准教授）

法人会員（理事会員）

- インフィオンテクノロジーズジャパン株式会社
- NTTコミュニケーションズ株式会社
- 株式会社NTTデータ
- 共同印刷株式会社
- ソニー株式会社
- 大日本印刷株式会社
- 東芝インフラシステムズ株式会社
- TOPPANエッジ株式会社
- 日本電気株式会社
- 日本電信電話株式会社
- 株式会社日立製作所
- 富士通株式会社
- 富士フイルムイメージングシステムズ株式会社

法人会員（正会員）

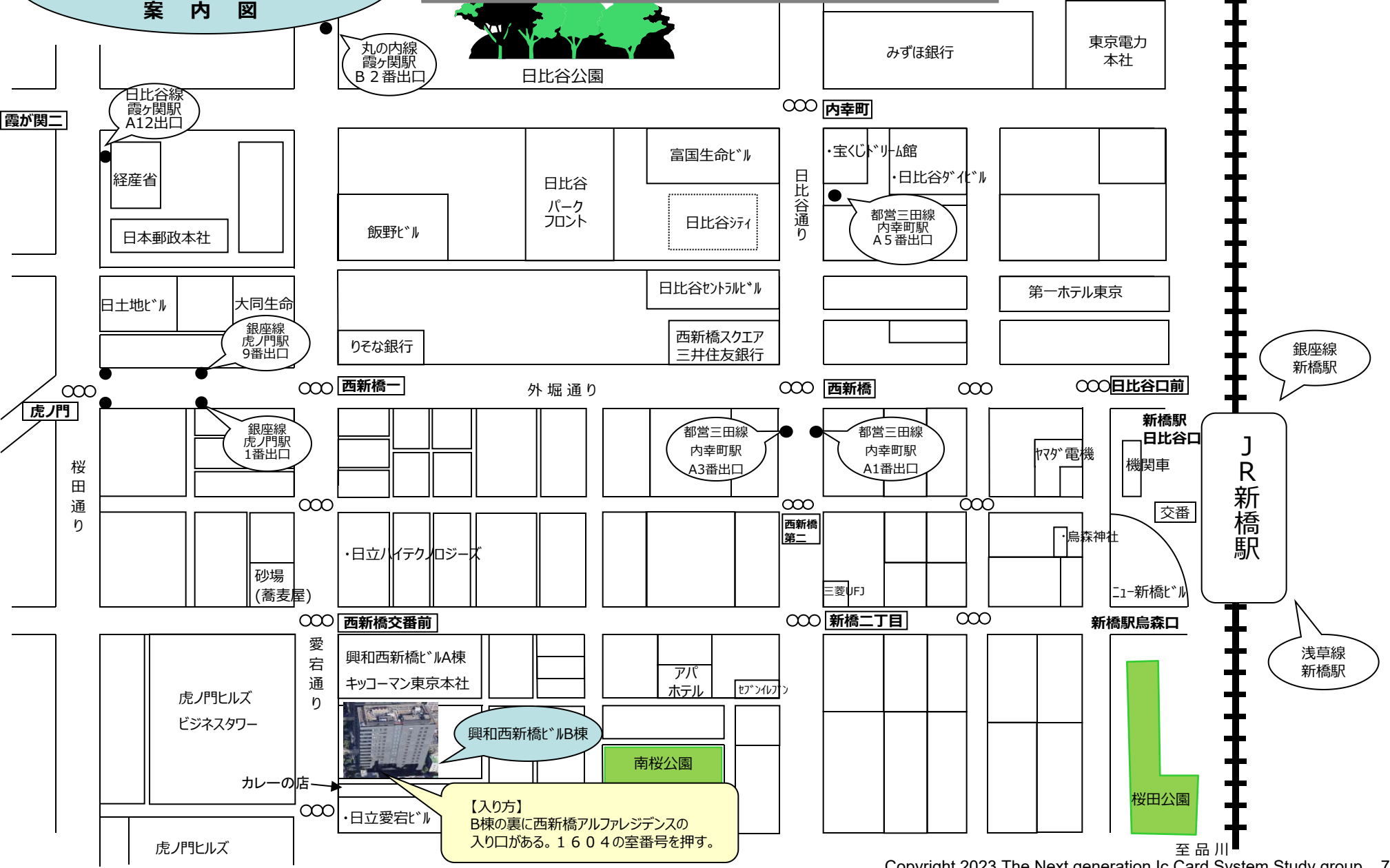
- GMOグローバルサイン株式会社
- サイバートラスト株式会社
- 株式会社サイバーリンクス
- 株式会社システムコンサルタント
- 日本デジタル配信株式会社
- マクセル株式会社

特別会員

- 一般社団法人 ICTまちづくり共通プラットフォーム推進機構
- 一般財団法人 ニューメディア開発協会

6. アクセス

興和西新橋ビルB棟
(次世代ICカードシステム研究会事務局)
案内図



丸の内線
霞ヶ関駅
B2番出口

日比谷線
霞ヶ関駅
A12出口

霞ヶ関二

虎ノ門

桜田通り

銀座線
虎ノ門駅
9番出口

銀座線
虎ノ門駅
1番出口

西新橋一

外堀通り

西新橋

日比谷口前

銀座線
新橋駅

都営三田線
内幸町駅
A3番出口

都営三田線
内幸町駅
A1番出口

新橋駅
日比谷口
機関車
交番

西新橋交番前

新橋二丁目

新橋駅烏森口

浅草線
新橋駅

興和西新橋ビルB棟

【入り方】
B棟の裏に西新橋アルファレジデンスの
入り口がある。1604の室番号を押す。

至品川